

# 2009-2010 年第 6 回 JaCVAM 評価会議議事録

日 時：平成 21 年 12 月 17 日(木) 14:00~17:30

場 所：国立医薬品食品衛生研究所 第一会議室

出席者：井上 達、岡本裕子、吉村 功、五十嵐良明、吉田 緑、小野寺博志、田中憲穂、大島健幸

オブザーバー(ob)：大野泰雄、秋田正治、増田光輝、小島 肇

以上敬称略、順不同

議題：

## 1. 前回議事録確認

司会の井上議長より、新たな委員として日本化学協会の大島健幸氏が紹介され、大島氏が自己紹介を行った。

井上議長より、前回議事録（資料 1）の内容について意見が求められたが、特段の意見はでなかった。

## 2. 眼刺激性試験代替法の評価 鶏摘出眼球試験

先回の会議で本試験法の評価文書担当となった五十嵐委員および田中委員より、資料 2 の評価文書案について説明がなされた。この資料をもとに、項目毎に議論して評価文書案を完成させた。

## 3. 眼刺激性試験代替法の評価 牛摘出角膜試験

先回の会議で本試験法の評価文書担当となった岡本委員および吉田（緑）委員より、資料 3 の評価文書案について説明がなされた。この資料をもとに、項目毎に議論して評価文書案を完成させた。

## 4. その他

上記の評価文書については、次回会議までに報告書の体裁に整え、提出すると小島 ob より説明がなされた。

予定されていたその他の試験法（LLNA：BrdU-ELISA：資料 4 および 5 および in vitro 皮膚刺激性試験：資料 6）の評価文書検討は次回に持ち越しになった。次回会議は、平成 22 年 3 月 4 日（木）14 時から国立衛研で開催されると小島 ob より連絡がなされた。

吉村委員からの指摘に応じて、LLNA：BrdU-ELISA の評価に関してはオブザーバーとなって頂くこと、評価委員会報告書の表紙に作成日を加えたと小島 ob から説明がなされた（資料 7）。

先回会議でまとめて頂いた光毒性試験評価報告書と含めたすべての報告書集を製本すると小島 ob より報告された（目次：資料 9）。岡本委員より、提案者にも配布するよう要望があった。大野 ob より、日本動物実験代替法学会の協力によりバリデーション研究が実施されており、すべての協力者に報告書集を配布すると説明がなされた。

以上

配布資料一覧

- 1) 2009-2010 年第 5 回 JaCVAM 評価会議議事録(案)
- 2) 眼刺激性試験 BCOP の行政的な推奨について
- 3) 眼刺激性試験 ICE の行政的な推奨について
- 4) LLNA-BrdU の行政的な推奨について (吉村案)
- 5) LLNA-BrdU の行政的な推奨について(中村案)
- 6) 皮膚刺激性試験の行政的な推奨について
- 7) LLNA-BrdU 評価文書改訂版の表紙
- 8) JaCVAM 第三者評価の現状
- 9) 酵母光生育阻害試験と赤血球光溶血試験の組み合わせによる光毒性試験報告書 目次